

京柔整復師会報

新年号 機関誌 170号



新年のご挨拶

新年を迎え、心すべきこと

— 四維(礼・義・廉・恥)が無ければ組織滅びる — 会長 長尾 淳彦

講習会

令和5年度 第1回、第2回京都府補助金事業

「運動器疾患対応力向上実施事業」開催

特別投稿

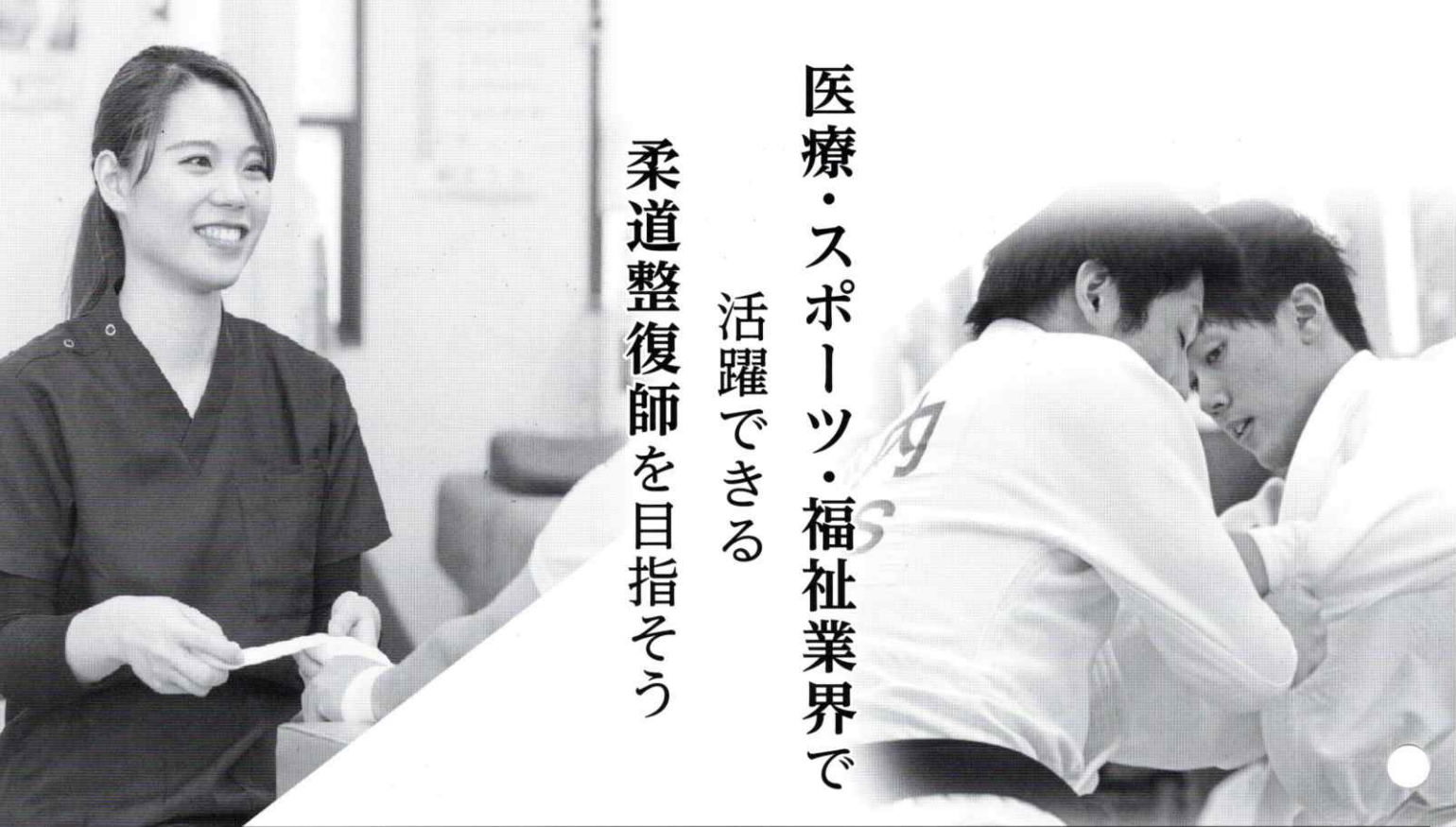
「高齢化社会」を迎えて(その9) — 「終活」の具体的進め方(8) —

本会顧問 弁護士 薦田 純一

公益社団法人 京都府柔道整復師会

令和 6年 1月20日





医療・スポーツ・福祉業界で
活躍できる
柔道整復師を目指そう

柔道整復科 3年制

I部 [昼間] 午前集中コース
午後集中コース

目指す資格 ▶ 柔道整復師 (国家資格)

柔道整復師は骨折、脱臼、ねんざなどのケガの施術を行える数少ない資格です。また、資格取得後は接骨院などを独立開業できることも大きな魅力です。本校では、授業+αでスポーツの知識を身に付けることができる、多職種連携授業を行っております。卒業後はスポーツ現場で働くことも可能です。

業界で活躍する
柔道整復科の卒業生

1,386名

2007~2022年度卒業生実績

開校以来、毎年多くの卒業生を輩出！
整骨院や整形外科、福祉施設など
様々な分野で活躍しています。



京都医健
スポーツ現場力
アカデミー

KISA



あなたの目指す未来に“スポーツ現場力”をプラス



柔道整復科
+ スポーツ現場力
スポーツ選手「ケガに強い」
柔道整復師

京都で唯一!

京都府
柔道整復師協会

主催の
保険講習会
を学内で開催!



医療に+αで美容が学べる

トータルビューティー科の先生から直接美容
について学ぶことができ、フェイシャルエステ
の資格取得も目指すことができます。



滋慶学園 総長杯 柔道大会

12連覇達成



鍼灸科 午前集中コース
午後集中コース
I部 [昼間] **3年制**

理学療法科
I部 [昼間] **4年制**
II部 [夜間]

作業療法科
I部 [昼間] **4年制**

視能訓練科
I部 [昼間] **3年制**

スポーツ科学科 **2年制**

**スポーツマネジメント
テクノロジー科** **4年制**

美容師科 **2年制**

トータルビューティー科 **2年制**

言語聴覚科
I部 [昼間] **2年制**
※大卒者対象

社会福祉科
II部 [夜間] **1年制**
※大卒者等対象

精神保健福祉科
II部 [夜間] **1年制**
※大卒者等対象

医健KEN 京都医健専門学校

フリーダイヤル **0120-448-808** ケータイからもOK! Eメール info@kyoto-iken.ac.jp

〒604-8203 京都市中京区衣櫛町51-2

京都医健 で 検索

HPはコチラから



目 次

● 新年のご挨拶	会 長	長尾 淳彦	3
● 新年のご挨拶	京都府知事	西脇 隆俊	4
● 新年のご挨拶	京都市長	門川 大作	5
● 新年のご挨拶	京都府医師会会長	松井 道宣	6
● 新年のご挨拶	衆議院議員	田中英之	7
● 新年のご挨拶	参議院議員	西田 昌司	8
● 新年のご挨拶	参議院議員	吉井 章	9
● 新年のご挨拶	元衆議院議長	伊吹 文明	10
● 新年のご挨拶	京都府議会議員	田中英夫	11
● 新年のご挨拶	京都市会議員	橋村 芳和	12
● 新年のご挨拶	副会長	林 啓史	13
● 新年のご挨拶	副会長	谷山 和浩	14
● 新年のご挨拶	総務部長	岡田 達也	15
● 新年のご挨拶	経理部長	西村 美紀	16
● 新年のご挨拶	保険部長	中村 英弘	17
● 新年のご挨拶	学術部長・保険部副部長	今井 雅浩	18
● 新年のご挨拶	事業部長	兼田 旭紘	19
● 新年のご挨拶	広報部長	中川 稔貴	20
● 新年のご挨拶	監事	薦田 純一	21
● 新年のご挨拶	監事	細川 義昭	22
● 新年のご挨拶	京都市伏見地域介護予防推進センター 代表	長尾 淳彦	23
● 新年のご挨拶	京都府柔道整復師協同組合 理事	長尾 淳彦	23
✿ 令和5年度第1回京都府補助金事業保険講習会			24
✿ 令和5年度第2回京都府補助金事業保険講習会			26
✿ 第46回近畿学術大会奈良大会			28
✿ 全体会議			30
✿ 「第35回市民スポーツフェスティバル」救護活動			32
✿ 文部科学大臣杯争奪 第32回日整全国少年柔道大会 第13回日整全国少年柔道形競技会 日整全国少年柔道大会 第4回全国柔道整復師高段者大会			33

✿	第25回京整ゴルフコンペ	京柔整ゴルフ同好会	山形 高明	35
✿	「第56回松谷杯柔道大会」救護活動報告	北丹支部	河原 巧	35
✿	特別投稿 「高齢化社会」を迎えて（その9）－「終活」の具体的進め方（8）－	本会顧問 弁護士	薦田 純一	36
🌿	支部だより			
	・北、上支部会・懇親会開催	通信員	口田 裕之	38
👤	会員の動静			39
📌	掲示板コーナー			39
📝	編集後記			39

「令和6年能登半島地震」により被災された皆様へ

「令和6年能登半島地震」に被災され、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の安全と、一日も早く平穏な生活に戻られることを心からお祈り申し上げます。

公益社団法人京都府柔道整復師会
会長 長尾淳彦

表紙の写真

九頭竜大社 九頭竜の絵



ご本殿向かって左の雅楽殿に納められる九頭竜の絵は、令和2年11月24日 九頭竜大社御発祥66周年の日に、猫猫寺（にゃんにゃんじ）の絵師 加悦 徹（かやとおる）さんによりご奉納いただきました。

九頭竜弁財天大神様は、諸竜神の中でも別格の存在である九頭竜の、とてつもなく大きな御力を持たれた慈悲の神様です。弁財天様なのですから女神でいらっしゃるのですが、時に竜神のお姿になって人々をお救いになります。

この九頭竜の絵は、千人万人無限に人を救い揺蕩（たゆた）って神界に上ってゆかれる九頭竜弁財天大神様のお姿が描かれています。

毎日午前9時～午後4時頃まで雅楽殿の扉が開かれ絵をご覧いただけます。ご本殿を9回まわるお千度の順路にございますので、ぜひご拝礼くださいませ。（写真撮影可。荒天時には扉が閉められることもございます。）

（九頭竜大社ホームページ：<https://www.kuzuryutaisha.or.jp/about/illustration/>から引用）

新年のご挨拶

新年を迎え、心すべきこと

—四維（礼・義・廉・恥）が無ければ組織滅びる—



公益社団法人京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、私が常に心することは、数年前の新年のご挨拶にも書きましたが、管子の「四維」であります。私事ですが、5期目（9年間）も組織のトップに居ると「慢心」「驕り」など自分では気づかない振る舞いが出るものです。

多くの決済事で最後の決断をするのが会長職であります。権限が集中すると組織内の闊達な議論が阻害され様々な忖度が行われ公平・公正な結果とならないことがあります。

古代より中国でいわれている「国家を維持する四つの要素」があります。当然、我々の組織にも当てはまります。

「国に四維あり。一維絶ゆれば則ち傾き、二維絶ゆれば則ち危うく、三維絶ゆれば則ち覆り、四維絶ゆれば則ち滅ぶ」「何をか四維と謂う。一に曰く礼、二に曰く義、三に曰く廉、四に曰く恥」（管子：牧民篇）

「礼」は秩序を形成する最大の要素です。組織が恙なく維持されるためには「礼」がしっかりしていなければなりません。常に無礼、非礼とならないように注意すべきです。

柔道整復師の名にある柔道の基本精神は「礼に始まり礼に終わる」といわれるように常に心に敬意を抱き行動として表すようにしなければなりません。

「義」はこの組織は何のための組織か？誰のための組織か？何のために組織があるのか？という道義が明確でなければなりません。人のふみ行う正しい道。これを「義」といいます。

柔道整復で世のために何を行うか？何が出来るか？を常に考えていかなければなりません。

「廉」は欲が無いということです。贅沢な華美はいけません。心清らかで私利私欲が無いこと。潔く清く正しいこと。組織も人も常にシンプルで簡素でなくてはなりません。

「恥」は「己を行うて恥あり」と孔子がいうように「私はまだまだ未熟で恥ずかしい限りです」と自己研鑽と自己反省を常に自分の心の中に持っているということです。

節目ごとに「慢心」や「驕り」がなかったかを検証することも大切なことです。

そして、先人たちが幾多の苦難を克服して繋いでくださった「柔道整復」を国民の支持のもとグレードアップ、スキルアップして次世代に引き継いでいかなければなりません。

常に謙虚に感謝を忘れず執行部一同、精進いたします。

結びに、会員の皆様には柔道整復師が地域からの信頼を更に深めるためにも柔道整復師会の推し進めている事業や指針にご理解ご協力をお願い致します。

京都府をはじめ本会関係各位の皆様方におかれましても本会事業に対しましてのご理解ご協力をお願い申し上げます。新しいスタートの執行部代表としての挨拶といたします。

活力にあふれ誇りの持てる京都づくりへ



京都府知事 西脇隆俊

明けましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、世の中が少しずつ日常を取り戻しました。長きにわたり感染防止対策にご協力いただいた府民の皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都の

みならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一歩であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けつつあります。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」。これは、明治時代に活躍した啓蒙思想家・福沢諭吉の言葉です。目まぐるしく社会が変化を続ける現代において歩みを止めることは、後退するに等しいかもしれません。しかし、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に新しい息吹を吹き込む営みは、これまで京都が脈々と続けてきたことであり、これからも京都が担っていくことです。時には歩みを止めて振り返ることも必要ですが、社会が歴史的な転換点を迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を発揮して、多くの人、企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創ってまいります。そして、「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都府全域でおもてなししたいと考えております。

今年には辰年です。雲を払い、蒼天に向かって昇っていく龍のように、私たちに託された京都の未来に向けて、京都府総合計画に掲げた一つ一つのプロジェクトを大きく動かしてまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

感謝をこめて ～魅力あふれる京都を未来へ～



京都市長 門川 大作

あけまして、おめでとうございます。

この一年の公益社団京都府柔道整復師会の皆様の御多幸を、お祈り申し上げます。

市長の任期もあと2箇月となりました。4期16年間、京都のまちづくりが大きく前進したと御評価いただけるのも、市民、事業者の皆様の深い御理解と御尽力があればこそ。改めて深く御礼申し上げます。

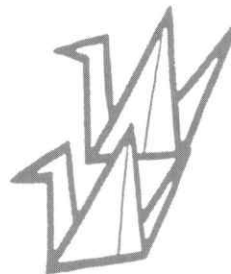
「課題は現場にある、しかし、答えも解決する力も現場にある」。私は市長就任以来、そんな信念で現地現場主義を貫いてきました。市民の皆様と共に汗する「共汗」を大切に、大好きな京都のために全力を尽くす感動と感謝の日々でした。

振り返ると、2008年、リーマンショックからのスタートでしたが、市民の皆様と共に議論を重ねてあらゆる施策を展開しつつ、職員一丸となった行財政改革に注力。その結果、厳しい財政状況が続く中でも、全国トップ水準の福祉、教育、子育て支援、安心・安全、景観、文化政策等を充実させ、京都の都市格が大きく向上しました。

そして、私の4期目の最大の責務は「抜本的な財政改革」。そこに想定外の「コロナ危機」。市民の皆様命と暮らしを守り抜く。同時に、不退転の覚悟の下、フルオープンの中で徹底した議論を重ね、更なる改革を丁寧な説明を心がけつつ断行。その結果、10年以上かかると思われた収支均衡を2年で達成。これは、国・府との緊密な連携による徹底した市民・事業者の皆様の下支え、長年の都市の成長戦略による担税力の強化が市税収入の増加（過去最高）に繋がったこと。さらには、徹底した効率化等による人件費の削減、理念を大切にしつつ本市独自施策の持続可能な観点での見直しによる歳出削減など、様々な要素が相まって実現したものです。これらもすべての市民、事業者の皆様京都への愛情、日々の弛まぬお取組の賜物。改めて感謝申し上げます。

超高齢社会を見据え、これからが大切です。更なる子育て支援、住居や働く場の創出をはじめとする人口減少対策、そして、改革を続けつつ、足腰の強い財政へ。同時に、「新・文化庁」や京都駅東部・崇仁に移転・開校した京都芸大・美工高等を中心に、幅広い地域で文化を基軸とした都市経営を一層推進。任期の最後まで、京都の最大の宝である「地域力」「文化力」をいかしたまちづくりに力を注ぎ、素晴らしいリーダーに継承してまいります。

文化首都・京都の発展へ。一層の御指導をお願い申し上げます。



新年のご挨拶



一般社団法人京都府医師会
会長 松井道宣

明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、府民の健康増進に寄与し、柔道整復師としての資質向上、生涯教育など様々な面においてご尽力されておられますことに、深甚なる敬意を表します。

昨年、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、ウィズコロナに向けて、コロナ禍からの脱出の大きな一歩となりました。医療現場では、これまでにない経験をしましたが、その経験により、平時からの医療体制の確保、行政との連携強化の重要性を

改めて認識することができました。

一方で、スポーツ界に目を向けると、ワールドベースボールクラシック（WBC）で、日本が3大会ぶりに優勝を果たしました。また、男子バスケットボールでは48年ぶりに自力でのオリンピック出場を決定するなど、その奮闘ぶりが日本中に感動を与え、明るい話題を提供してくれました。さらに、将棋界では、藤井聡太氏が史上初の八冠を達成するなど若い人々の活躍が目にとまりました。

さて、我が国は、超高齢社会の入り口にいますが、そのあとに続くのは人口減少社会です。今後ますます高齢化率が上昇し、支えられる世代に比べて支える世代が減少する社会において、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい人生を全うできる社会を目指して、2025年を目途に地域包括ケアシステムの整備が進められています。

京都府医師会といたしましては、貴会をはじめとする医療関係団体との更なる連携強化を図り、医療・介護・福祉の発展に尽くしてまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後のますますのご発展とご活躍をご期待申し上げますとともに、本年が会員の皆様方にとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問
衆議院議員 田中英之

新年あけましておめでとうございます。

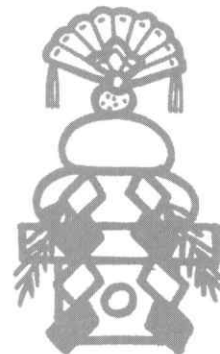
京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、お健やかに輝かしくも令和6年の新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。京都府柔道整復師会会長 長尾淳彦様をはじめ会員の皆様におかれましては、平素より私の諸活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが昨年、5類感染症に移行し日本、京都は観光の皆さんで賑わいを取り戻しましたが、力強い経済を取り戻さねばなりません。その為にしっかりとした議論が行われるよう、国会に身を置く者の一人としてその職責を果たしていきたいと考えております。併せて、国民の皆様が安心して暮らしていける社会を持続させていくことも、地域の力を維持し

ていくためには必要なことと考えています。超高齢社会の到来が予測される中、健康長寿を目指すためにも身体機能改善によるケガの防止等も非常に重要であります。日本に古く存在する柔道整復術が人のからだに潜在する能力を引き出し、心と体を元来の状態に整え、健康を長く持続させる治療法として大変効果があるものと大きく期待しております。

柔道整復師の先生方におかれましては、今後も地域に根付く安心の発信基地として、大いに活躍されますことを心より念願いたしております。私も衆議院議員として、地域の皆様が安心して暮らしていけるため引き続き精一杯努力してまいりますことをお誓い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の一層のご盛昌と会員各位のご健勝ご多幸を心より祈念し、新年に寄せるご挨拶といたします。



新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問
自由民主党京都府支部連合会長
参議院議員 西田 昌 司

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
京都府柔道整復師会の皆様には、日頃より格別なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会は、長尾淳彦会長を中心に力強い結束のもと、日々の治療に留まらず、柔道大会や様々なスポーツ大会での救護ボランティアなどを通じて、京都府民の暮らしに根付き、府民の健康増進に大きく寄与していることに深く感謝申し上げます。特に、大型災害に備えとしての京都府総合防災訓練への積極的な参加や、救急救護隊研修、救護活動関連講習会の開催に対しても心からの感謝を申し上げます。

現代社会においては、少子高齢化社会が進み、国民の健康意識が高まる中、柔道整復師の役割は益々広がっています。医療分野や福祉分野での機能訓練指導員として、そしてスポーツトレーナーとして、貴会の存在感は不可欠であり、その必要性和重要性は一段と高まっていると認識しております。

急速なIT化とデジタル化が進む現代だからこそ、貴会の皆様が持つ「骨接ぎ」の確かな知識と技術が重要です。柔術に由来する伝統を守りつつ、スペシャリストとして培われた経験と実績を基に、府民のために地域医療に貢献していただけることを期待しております。

私も京都の国会議員として、国民や京都府民の生活向上と健康増進に全力で取り組む所存です。引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と、会員の皆様方の一層のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問
参議院議員 吉井 章

新年あけましておめでとうございます。公益社団法人京都府柔道整復師会の皆さまにおかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、長尾淳彦会長をはじめとする京都府柔道整復師会の会員の皆さまにおかれましては、「医療」「介護」「福祉」「救護」「スポーツ」などの分野において、会員の先生方の丁寧な施術によりまして、京都府民の皆さまが、健康的で生き生きとした日常生活を送れるよう、日々研鑽を積み、各種講習会の実施やスポーツフェスティバルにおける救急救護隊の派遣、柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す幅広い社会貢献活動などにも多大なるご尽力をいただいておりますことに深甚なる敬意と感謝の意を表します。

京都府選出の国会議員として、まずは景気回復・経済再生、そして、「領土・領空・領海、自分たちの国は自分たちで守る」「国民の生命と財産を守る」という強い信念のもとに、外交・安全保障政策の構築をはじめ、今こそ、各種法整備を整え、国民の皆さまが安心安全な生活ができますよう全力を投入して参ります。

また、京都府柔道整復師会の皆さまが、安心して患者さんと向き合っていただけるような施策の充実を図り、ご要望にもお応えできるように、今後も力を尽くして参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げますとともに、公益社団法人京都府柔道整復師会の今後益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問
元衆議院議長 伊吹文明

新年明けましておめでとうございます。物価高が終息し安心できる暮らし、ウクライナやイスラエルでの戦闘が終り平和な世界、今年はこの二つが戻ってくる年であってほしいと願っています。

京都府柔道整復師会の皆さまにも良きお年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い致します。

衆議院議員生活に終止符を打ってから2年が過ぎましたが、現役時代とほぼ変わらぬ日程で東京と京都を行ききし、お世話になった皆さんや仲間からの相談、講演等で忙しく毎日を送っています。

ロシアのウクライナ侵略やイスラエルでの戦闘で、原油や穀物等の国際商品の流通が滞り、日本では更に円安の影響を受け物価が高騰しています。さらに日本では、戦後に比べて豊かさでいきとどいた国になったこともあり、多様な価値観の主張が可能となり、少子化問題や公益のための一致結束・協調の文化が失われる等様々な問題が生じています。生産拠点の海外移転、財政赤字、温暖化による自然災害、これ等の様々な現象面での変化を克服し、次の世代に良き日本を引き継ぐには、政治は勿論ですが、主権者である国民のご協力とご理解が必要なことは言うまでもありません。自由と民主制の下で、自由が我がままに、多数決や投票が目先の損得や感情だけに流されぬよう、現役政治家の後輩の皆さんが言い難いことを、私は一有権者、一国民として、発信していきたいと考えています。

今年2月には私達の生活の場であり、日本の文化首都でもある京都の門川市長の後継者を決める市長選挙があります。スローガンだけのポピュリズムに流されることなく、京都人の感性を発揮し、現実をしっかり認識して、整合性ある市政を行ってくれる市長の誕生を期待したいと思います。

永らく国民に受け入れられてきた柔道整復術も、自由診療を除いては療養費払いという公的保険制度に基盤をおいている以上、国民の負担と給付のバランスのなかで有効かつ効率的に行なわれねばなりません。先生方が将来とも広く認知され、尊敬される存在である為には、管理柔整師制度を適正に運用し、日本柔道整復師会を中心に研修を重ね、社会的に批判を受けている一部の施術者とは一線を画し、患者の為のご努力をお願いしたいと思います。それを受けて、後輩の柔整師顧問団の議員の方々も制度改革や療養費改定で変わらず努力してくれると思います。

結びに、京都府柔道整復師会の今年のご発展と先生方のご健勝をお祈りします。

屠蘇祝う 歴史の今を 想いつつ

新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問

京都府議会議員 **田中英夫**

新年あけましておめでとうございます。

長尾淳彦会長様をはじめ公益社団法人京都府柔道整復師会の会員の皆様には、令和6年の初春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

又、先生方には、日頃より研鑽を積まれ、確かな知識と技術により患者さんの身体のみならず心の治療にも専心いただき、府民の健康維持向上にご貢献をいただいていますことに深い敬意と感謝を捧げます。

長びきました新型コロナウイルス感染症も一定緩やかになってまいりましたが、完全収束したわけでもなく、先生方にはこれからも様々ご苦勞おかけしますがよろしく願いいたします。

併せまして、府柔整師会におかれましては、常日頃より我々自由民主党へ力強いご支援を賜わっていますことにも重ねて厚くお礼申し上げます。

特に昨年は統一地方選挙につき、府内各地において多くのご支援を賜わり誠にありがとうございました。当時、府連幹事長を勤めていました者として心よりお礼申し上げます。

おかげ様で、厳しい中ではありましたが、それぞれ自民党所属議員として新たな4年間を歩み出すことができました。今後も府市の政治行政の躍進に向けて、一層の努力を続けてまいることをお約束いたします。

又、本年も京都市長選挙はじめ各種選挙が予定されています。先生方には引き続きのあたたかいご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆様にとって最良の年となりますよう、併せて公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と会員先生方のご繁栄をお祈りし、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問

京都市会議員 橋村 芳和

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えされましたことを心からお慶び申し上げます。

先生方におかれましては、コロナ禍にあっても日本が世界に誇る伝統ある柔道整復を通じて市民の健康の増進のため、日々従事され、そのご活躍に感謝申し上げます。近年は健康長寿が大きく叫ばれる時代にあつて、その社会的使命はより重要になっております。また、日整の少年柔道大会を通して、青少年の健全育成にも取り組まれておりますことにも敬意を表しますとともに、一層のご尽力をお願い申し上げます。加えて昨年5月、長尾淳彦会長が、公益社団法人日本柔道整復師会会長選挙において第21代会長にご就任されました。

改めてお祝い申し上げます。持ち前の強力なリーダーシップを発揮され、柔道整復師会を取り巻く諸課題の改善に向けて、今後益々のご活躍を期待致しております。

さて、世界に激震を与えた新型コロナウイルスの京都での発生と感染拡大から早くも4年が経過し、国際的な観光都市であり、伝統とものづくり産業のまち・京都市も、様々な面で大きな損害と痛手を受けました。

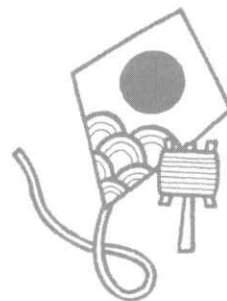
私が団長を務めさせていただいております自由民主党京都市会議員団でも、このコロナ禍に対して全力を結集し、市民の命と暮らし、財産などを守り抜くべく、国や京都府とも連携を強化し、京都市に対して全庁一丸となる対応を求めて取り組んでまいりました。また経済対策を強く要望したほか、検査体制の充実や医療体制の確保、新しい生活様式の徹底などを求めました。安定した生活を取り戻せるよう、引き続き取り組んでいきます。

思い返せば平成3年の初当選以来、8期29年間にわたり、京都市政の発展と私の地元である伏見区の躍進のため、京都市会議員として仕事をさせていただいておりますことも、長尾淳彦会長はじめ、会員の皆様の温かいご支援とご指導のおかげであると強く実感致しております。重ねて厚く御礼申し上げます。

来る2月には、令和6年度の予算を審議する定例会が開会致します。幸い今年度は財政を所管する総務消防常任委員会に所属しておりますことから、日頃より皆様からいただいておりますお声をしっかり市政に反映をし、福祉と医療の先進都市京都の実現のため全力を尽くして参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



副会長 林 啓 史

新年を寿ぎお祝いを申し上げます。

令和5年6月25日の長尾淳彦日整会長ご就任挨拶が頭から離れません。要約しますと「私も含め役員に立候補した24名の平均年齢は68.25歳。私たち3、40代の当時と現在同年代の開業柔整師の状況を比較し、若い柔道整復師が誇りをもって仕事に励み、生活や子育てを両立できる職業として確立させる必要がある。柔道整復師を次世代の若者にとって“夢のある職業”にするため課題の解決にリーダーシップを発揮していく。」と述べられたことです。身近で切実なテーマ、それでいて普遍的な理念でもある発想に、ハッとさせられました。新体制がこの旗幟を共感・共有して、組織のインクルージョンを向上させるモチベーションにもなるでしょう。本質的で高い理想は人を動かすものです。これが全国組織に波及していくことを希望します。いや、そうなるものと確信します。その一役を担っているのは地域公益社団柔整師会副会長という私の職責でもあると認識しております。

昨年11月9日付NISSEI TOPICに、自民党政政策懇談会において「柔道整復療養費の実績は平成23年度(2011)の4,085億円をピークに

令和2年度(2020)には2,831億円となっており、9年間で約1,250億円減少している。」などと現状【*令和3年度(2020)に支払われた柔整療養費は2,905億円で、10年ぶりに増加に転じたと厚労省が10月下旬に発表。】を説明して「料金改定では十分配慮願いたい」と訴えた記事が掲載されていました。一方では開業者数は増え続けています。平成26年(2014)63,873人、同年施術所数は45,572箇所、そして令和2年(2020)就業柔整師75,786人、施術所50,364箇所。令和2年以降も同じ傾向と想定できます。これは療養費ベースの個人所得が厳しい減少傾向にあることを表しています。長尾会長も以前から分析・指摘し言及されていることです。

日整会員数についても懸念されるどころです。国の限られた予算、各種権利・義務が錯綜する折衝のせめぎ合いの状況下で会員数の減少は交渉力の低下につながります。各地域公社団組織、それを束ねる公社団“日整”の会員数が年々減少傾向にあります。これまでも何を優先しなければならないかを考え、見たくない現状を直視し、覚悟して会員減少問題に取り組んで来ました。これからも生成AIなどを利用してこの課題に対応することになります。公益社団法人の認定を受けた日整組織は、公益事業目的の完遂、国の社会保障制度への協力・協調、そして財源の確保など幾多の業務をおこなっています。財源については自立が原則でその上、財務3基準を達成する義務があります。それを果たして行く中で、短絡的に、申請した療養費の入金のみを目論んで入会するも、思うに任せずに退会する者が増加していく現状への対応には、柔道整復師を取り囲む制度の改変が必要であることを実感しています。

最後になりましたが、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



副会長 谷山和浩

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様にご挨拶申し上げます。

日頃より本会の取り組みにご尽力くださる会員の皆様に大変感謝しております。

昨年6月の役員改選にて副会長に就任し早、半年が過ぎました。副会長として会長のサポート及び経理部・事業部・広報部の業務を担当しております。今後はリーダーシップを発揮して本会を引っ張っていける存在になれるよう日々、精進してまいります。

新型コロナウイルスの自粛から解放され、京都では外国人観光客の姿を見ることも増え社会活動は活発化してきている様子です。しかし施術所における患者さんの来院はコロナ禍前の状態には回復していない傾向が見受けられます。患者さんと向き合う機会が減少していることは柔道整復師として大変つらいと感じておられる先生方も多いかと思えます。

本会もコロナ禍が開け、事業活動の機会も増えています。これに伴い費用も増加傾向にあ

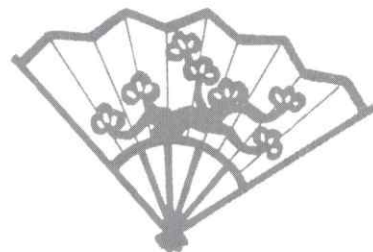
り、経理部の面からは「効率化を推進しコストの減少」をさせていきたいと思えます。事業部の面からは「効果的な事業活動」で社会にアピールをしていきたいと思えます。また広報部の面からも「積極的な広報活動により本会の魅力を発信し新規会員の増加、特に若者の入会の機会」を増やしていきたいと思えます。

京都府柔道整復師会は「会館付設のマンション経営」「伏見地域介護予防推進センターの運営」で安定した収入を得ています。別館を含め収支のバランスをとれるよう遂行していき、全国の柔道整復師会の先駆となれるよう活動してまいります。

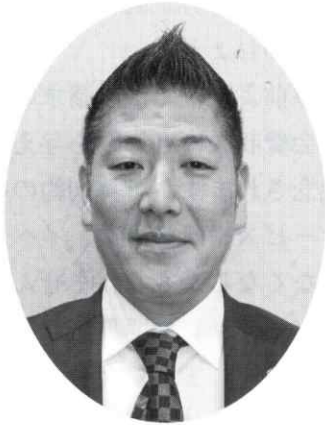
また、業界においては接骨院でもマイナ保険証の導入・運用が始まろうとしています。

これに伴い「ガバナンスの強化」「業務のシステム化」の体制を整えていく必要があると考えます。

収入の減少が引き続き見込まれますが、協同組合を活用した本会の運営を行い会費収入の増加と会費収入以外の収入を得るべく、理事者一丸となり、明るい未来を見据え、安定した運営を役員・部員・会員の皆様方のご支援をいただいで全うしたいと存じますので、今年も何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶



総務部長 岡田 達也

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様をはじめご家族や施術所スタッフにおかれましても健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より大変お世話になっております顧問の先生方や行政関係の皆様におかれましては、本年も引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年6月4日の理事選挙にて2期4年ぶりに復職させて頂きました。長尾淳彦会長から総務部を担当するように命じられ、重責の中皆様方にご協力いただき何とか半年を過ごす事ができました。

昨年は新型コロナウイルス感染者数の減少による行事の再開や文化庁の京都移転、長尾淳彦会長の日本柔道整復師会会長就任と大変嬉しい事が立て続けに起きた年でもありました。本年辰の年においては、昇竜の如く昨年以上に飛躍できる年でありたいと願っております。

しかし、本会における状況は大変厳しくなっており、保険請求や業務的な厳しさだけでなく運営そのものに関する危機感を感じておりま

す。コロナ禍において退会者数が増えていく中で、新入会員が増えず会員数の減少が続いています。ひいては組織率の低下や会費収入の減少が起こっており、近い将来、これまで同様の事業は継続出来ない事になってきました。ただ指をくわえて状況を見ているわけではなく会員増員についてアイデアを出し合い実践していく所存です。日本中の産業で人員不足が叫ばれている中、生産人口の減少は目に見えての現実であり、会員数増加も困難を極めると思っています。養成学校卒業者数も減少方向になり競争激化については一時より低下しましたが、人口減少していく中で戦後の高度経済成長期のような伸び率は全く期待できません。会員数という定数を変化させるより、会員サービスや、業務効率、業務拡大等の変数を変えて会務執行をしていきたいと考えております。総務部長として会全体を俯瞰的に見て、各部担当理事や支部長と協力しながら運営させて頂きます。会員におかれましても、各支部長より支部会グループLINEへの案内が来ているかと思いますが、迅速なる情報伝達、経費削減、災害時の連絡手段、会員間や会との相互通信、これらの趣旨にご賛同いただき登録をお願い申し上げます。

また、本会の事業とは異なりますが本年2月12日に京都市武道センター敷地内に「未来に繋ぐ日本の文化 柔道整復」と刻まれた石碑の建立が予定されています。寄付を募り制作される為、ご寄付頂いた方は寄付者銘板が、その脇に設置されるとも聞いております。日本古来の武道から起こった柔道整復術を後世に引き継ぐためにも、誇り高く柔道整復師として活動する為にもご案内が参りましたら、ご協力いただけるように重ねてお願い申し上げます。

新年のご挨拶



経理部長 面村 美紀

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはよき新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

旧年中は経理部にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、日頃よりご尽力くださる会員の先生方や関係者の皆様にも大変感謝しております。

現在、メディアやSNSを通じて盛んに議論されていますように、バブル経済崩壊後1990年代から日本の賃金水準は低迷が続いています。それに加え各種増税・物価高騰などは医療業界・接骨院にも様々な影響が考えられます。上がらない賃金は我々含めスタッフのモチベーション低下や採用・定着の難しさに繋がり、これがサービス品質や患者対応に影響を及ぼす可能性があります。増税による税負担増や物価高騰は、経営コストの上昇を招く課題となります。

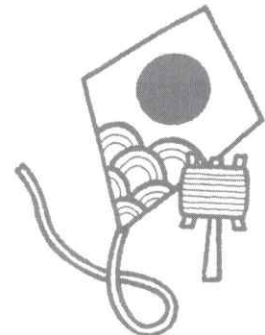
これらの課題に対処するためには、経営戦略の見直しや地域社会との連携、新たな収益源の開拓が不可欠です。柔軟性を持った経営と患者

との信頼関係の築き方が変化に対応する鍵となるのではないのでしょうか。

一方で、以前より続く保険請求の低下は柔道整復師会の会費収入にも影響を与え、会務事業の低迷が懸念されます。予算制約の中で会員に提供するサービスや研修事業、イベントを縮小せざるを得なくなるかもしれません。これらが会員のモチベーションや関与度に影響を与えるおそれがあります。また、会員への支援や相互協力の機会が制限される可能性があります。協力体制が弱まると、業界全体の発展にも影響を及ぼしかねません。

会は柔軟で効果的な経営戦略を模索し、会員とのコミュニケーションを強化することが喫緊の課題だと思います。会員が直面する課題に対するサポート強化など、状況に応じた具体的な施策が求められます。

このように社会経済の影響は避けられませんが皆様と共に協力し乗り越えることができると信じております。経理部は、慎重な予算管理と透明性のある情報提供を通じて京都府柔道整復師会の健全な財政状態を維持し、発展に貢献してまいります。経理部一同、心よりのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。謹んで新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



保険部長 中村英弘

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方、ご家族の皆様、関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、保険部の事業運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大による自粛した生活からもようやく解放され、外国人観光客の数もコロナ前の数字を上回ってきておりますが、決して感染がなくなったわけではありません。加えて昨年より、インフルエンザによる感染も猛威を振るっており、引き続き日々の生活や日常の業務においても油断できない状況が続いています。

今年は、マイナンバーカードによるオンライン資格確認が4月から始まります。そして、秋には現在の保険証が廃止される予定になっており、今後患者さんの資格確認はオンラインによる方法で行うこととなります。これは、マイナ

ンバーカードをカードリーダーやスマートフォンなどで読み取り、オンライン資格確認等システムと接続をして、資格情報のみを取得できるシステムとなっています。昨年の11月から「施術所等向け総合ポータルサイト」が開設されており、このサイトからオンライン資格確認に関する最新情報が発信されていますので、定期的にアクセスをしていただきたく思います。

また、今年は、医療・介護報酬の同時改定の年であります。現在、世の中の物価高騰に加え、保険情勢も厳しいものとなっております。私たちの施術に係る柔道整復療養費もプラス改定になるようお願いいたします。いつも申し上げますが、患者さんに安心して通院していただくためには、やるべきことをやるという当たり前のことが出来なければいけません。まず、患者さんとしっかりと向き合い問診・視診を行い適切な施術をすることにより一日も早く患者さんの苦痛を取り除き、そして施術に関する記録（施術録）を整備することが基本となります。施術録があり、それに伴って申請書を作成しルールに則り保険者に請求という当たり前の流れを遅滞なく行わないといけません。

そのためには、正確な保険取り扱いの知識を今一度再確認し、日々の業務に活かせるようにしておく必要があります。

そうすることにより、この100年余り日本の伝統医療として国民に信頼されてきた「柔道整復」が、今後も未来永劫に信頼され続けられるものであってほしいと願っております。

今年も、保険部の事業運営に格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



学術部長・保険部副部長
今井 雅 浩

新年明けましておめでとうございます。
皆様には新年をお健やかに迎えになられたこと
とお慶び申し上げます。
今後の学会・講習会について既に予定されている
ものをご紹介します。

① 日整「匠の技 伝承」プロジェクト

2021年から学術部を中心にこのプロジェクト
の指導者研修を受講しています。研修内容はコー
レス骨折や肩関節前方脱臼など重点部位につい
て、超音波エコー・整復固定の実技研修です。

2024年度から都道府県別研修会がスタートし
ます。日整の会員施術所ではエビデンス・標準化
された施術ができ、全国どこでも日整水準の施術
が受けられるようにするためです。

この観点からするとエコー観察・整復固定と
いった初回処置はもちろんですが、治癒に至る
までの後療についてもLIPUS（オステオトロン）
の導入などエビデンスに基づく平準化された日整
水準の後療法が必要になります。また、施術経過
をエコー観察により評価するといったことも重要
です。こういった後療法の確立こそ「医師に施術
同意」をもらうため、あるいは患者の安心安全の
ために重要なものと考え取り組んでいます。

② 『運動器疾患対応力向上』

昨秋、Y-トレの村上幸史さんに「運動療法・エ
クササイズ」の講習をしていただきました。京都
府補助金事業として継続的に実施しています。

京都府は地域包括ケアシステムを（2025年め
ど）に構築することになっていて、そこに柔道整

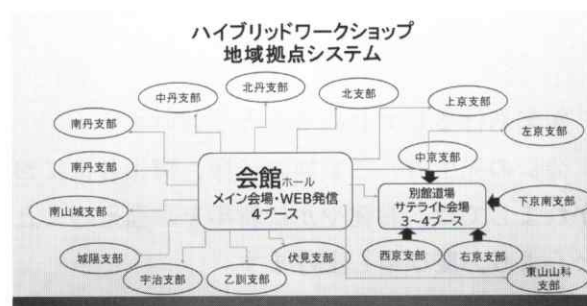
復師が機能訓練指導員として参入するため、つま
り柔道整復師の業務拡大を図ることが目標となり
ます。

これら大きく2つが今後の学会・講習会の中心
になり、今後しばらくは知識・教養や情報の伝達
のための講演会から、技術習得を目的とした『体
験型ワークショップ』の開催がメインになってき
ます。

『ハイブリッドワークショップ』

技術習得にはキチンとした座学と実技演習が行
える体験ブースの設置が必須です。

会員に対し効率的に実施するには体験ブースを
どれだけ作れるか、体験ブースの数がキーポイント
になります。そこでオンラインを活用した『ハイ
ブリッドワークショップ』という開催方法が必要
になってきます。



この図はハイブリッドワークショップ開催にあ
たり、各支部を地域拠点とする（案）です。

会館ホールをメイン会場としてワークショップ
を開催し、体験ブースを4ブース作ります。それ
をWEB配信し、別館や各支部のサテライト会場
ではライブ配信を見ながら実技演習をしていただ
くという形です。別館は右京や西京といった近隣
支部の会員が集まる会場としています。

この形だと会館4、別館4、各支部1ブース、
の設置で、20の体験ブースが設置できることに
なります。支部に限らず有志グループで参加され
るのもよいと思います。

今後はこのようなハイブリッドワークショップ
が主流となります。各支部には地域拠点としてご
理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

本年も諸問題にいち早く適切に対応すべく、よ
り一層業務に精励してまいりますのでご協力ご指
導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の皆様、ご家族、関係各位
のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

新年のご挨拶



事業部長 兼 田 旭 紘

新年あけましておめでとうございます。本年も京都府柔道整復師会の皆様が、健康で充実した一年をお迎えいただけるよう心よりお祈り申し上げます。私たちの会は、患者様の健康維持と向上を使命とし、そのために様々な活動を展開しています。救護隊の事業部長として、救護活動の充実と会員の増強に向け新年度において救護隊の一員として、私たちの存在をより多くの方々に知っていただくために、積極的な宣伝活動を展開します。地域イベントへの参加や学校での啓発活動、SNSを活用した情報発信など救護隊が地域社会に貢献している姿勢を広く知っていただくことで、新たな会員の獲得につなげていきたいと考えています。また、既存の会員に対しても、救護隊の重要性や活動の魅力を再認識していただくための研修やワークショップを実施します。これにより、救護隊の一員としての自覚と誇りを高め、会員同士の連

携を強化し、より効果的な救護活動ができるよう努めます。そして、技術の向上や最新の知識の共有を促進し、より高度な医療サポートが提供できるよう研鑽を積んでまいります。

さらに、新年度において、若手柔道整復師の育成を積極的に行います。若手の柔道整復師には、救護隊への参加を通じて実践的な経験を積んでいただくとともに、リーダーシップの育成や協調性を養い、将来的には救護隊の中心となる存在となつていただけるようサポートしてまいります。

また、柔道整復師会の結束を一層強化し、共に困難な状況に立ち向かっていけるような組織づくりを進めていきます。相互の信頼と協力があればこそ、より質の高い救護活動が可能となります。柔道整復師会が一丸となり、地域社会に貢献する存在としての地位を一層確立していくことが、私たちの使命であると考えています。これからも、柔道整復師としてのプロフェッショナリズムを追求し、地域社会に寄り添いながら、健康と幸福の向上に貢献していく所存でございます。コロナ後の新しいスタートに向けて、皆様方と共に歩みを進めていけることを楽しみにしております。

新年度が、京都府柔道整復師会にとってますます充実した一年となりますよう、心より願っております。今年も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、皆様とともにより良い未来を築いてまいりたいと考えております。本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

新年のご挨拶



広報部長 中川稔貴

あけましておめでとうございます。旧年中は広報部に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。新春を迎え皆様、ご家族様にとって幸せな一年になるよう祈念申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染の規制が医療機関や介護施設などを除き緩和されました。国民や海外からの観光客の移動でウイルスの拡散が懸念されましたが、さほどの混乱も無く過ごせたと感じております。しかし、コロナ禍後のインバウンドに向け色々なウイルスが持ち込まれています。国もエボラ出血熱などの研究も始めたと聞いています。今後の情報に敏感に対応したいと思います。

さて、私たちの業界においては物価高騰、最低賃金の引き上げ、コロナ禍から年々保険請求が落ち込みなど施術所経営が大変になるばかりです。その中で本業以外の収入に頼る接骨院・整骨院が多くなる中、今一度生業としての柔道整復術を考える時だと思えます。

日本柔道整復師会主導で行っている「匠の技伝承」プロジェクトが、令和6年度から各都道府県で展開されます。柔道整復師の技を再認識し、学び直す機会が得られます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

ここで日本化学療法学会雑誌第50巻第7号の論文、「社会経済環境の変化と医療の標準化」長江敏男氏著の中で紹介されていた医療の標準化の10S (Medical Standardization Featured with 10 S) を紹介したいと思います。

Standardization「標準化」、Sure with Evidence「最新の医学水準にもとづきたしかであるか」、Systematic Use「体系的で使いやすい」、Service「必要なサービス提供に繋がる」、Suitability「目の前の患者が適応するか」、Speed「迅速対応できるか」、Self-Decision-Making「患者の自己決定」、Sustainability「継続性、生命維持」、Satisfaction「患者、医療関係者の満足度」、Resource Saving「むだな資源と時間を節減」です。またこの論文の中には、患者が治療をオーダーする時代が来るとも言及されています。

柔道整復術の標準化こそが、私たちの一つの武器になると思います。そして今一度、学びなおしを柔道整復師全体で行い、柔道整復術の標準化を取り決める事が急務だと思っています。

また、これからはIOT (Internet of Things :モノのインターネット)の時代です。日本においてマイナンバーカードによる健康保険証等の紐づけをはじめ、色々と始まっています。これから私たちの業界においてもいろいろな物、事がインターネットで繋がります。生体認証や埋め込みチップにて証明書(マイナンバーカード)の提示もなくなることや、頭で思ったことがデータ化し保存されることなど、今まで想像もしなかったことが次々と起こると思います。私としましては、時代の流れを敏感に察知して対応し、柔道整復師業に生かせるようにITの知識やスキルを身につけていきたいと思っています。

広報部活動では、京柔整会報(広報機関誌)や京都府柔道整復師会ホームページにおいて本会の活動や情報を公開して、行政、保険団体、国民に柔道整復師・柔道整復術の周知とご理解いただく活動を行っております。さらに、本会会員と他団体、個人契約者との差別化をする為に、接骨院・管理者の情報を公開しております。「講習会・研修会履歴」においては、一般の方に向けて本会会員先生方の勉強心と保険に関する情報収集の取り組みへの評価材料を提供しています。さらに会員専用ページでは、各部に関する情報や様式のダウンロードなども提供しています。随時、ホームページの更新をしていますのでご確認下さい。公益社団法人京都府柔道整復師会 (<https://kyojusei.com/>)そしてFacebook (<https://www.facebook.com/kyojusei/>)、Instagram (<https://www.instagram.com/kyojusei/>)の運用もしております。広報部に皆様からのご投稿および、ご意見をお待ちしております。本年も引き続き執行部の一員として努力してまいります。よろしく申し上げます。

新年のご挨拶



監事 弁護士 薦田 純一

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方やご家族を始めスタッフの皆様が、共に健やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

さて、令和5年度も昨年に引き続いて監事の職務を委嘱され謹んで承りましたので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年度から引き続き「別館」の有効利用も活発に行われ、京都府柔道整復師会の業容拡充に貢献していること大慶に存じます。

また、会員の先生の患者さんの「終活」への

備えも次第に啓蒙が進み、ご自身の財産の整理や引継ぎなどに対する準備への心構えも浸透し始めていると窺っております。そのような際には非力ながらお手伝いが出来ればと存じますので、是非お気軽にお声がけ下さるようお願い致します。

ところで、最近ではウクライナやイスラエルなどでの戦火の話題の報道が途絶えることが無く、世界的に見て不穏な状況が継続し、石油製品を始め生活必需品の値上がりも続いています。さらにはインフルエンザの流行などもあり、気持ちが沈んでしまいそうになりがちですが、会員の先生方やスタッフの方々と一丸となって知恵を出し合い協力し合って、この危機的な状況を乗り越えるぞという覚悟を表明して、年始のご挨拶に代えさせていただきます。

会員の先生方やご家族、スタッフの皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

以上



新年のご挨拶



監事 細川 義昭

新年明けましておめでとうございます。平素より、会員の先生方やご家族の皆様方には、社団活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。監事職を務めさせて頂いてから、2年半が経ちました。会務にもようやく慣れて来て、少しはお役に立てているのかなと思っております。これも会長をはじめ理事の先生方のご助力のお陰だと感謝しております。今後も出来る事を精一杯頑張る所存ですので、宜しく願い申し上げます。

2023年5月、世界中に広がった新型コロナ感染症は季節性インフルエンザ等と同じ5類に引き下げられました。しかしその間は、社団も会員方の施術所運営も右肩下りで多大な収入減少をもたらしており、未だにコロナ前までには回復しておりません。原因は、各施術所では来院数の減少、社団では新入会員減と退会会員増

で全体の会員数減が、本会運営の母体である定率会費の収入を少なくしております。今後は如何にして会員方の運営を安定させて行くのかが大きな課題となっています。

昨年の新年挨拶でも申し上げましたが、従来の接骨院業務に加え、新たな手法が必要です。柔道整復師として、骨折・脱臼の施術の質の向上はもとより、患者本人の機能を上げる運動療法など、様々な事を取り入れなければなりません。京都府柔道整復師会では、今後活かせる情報を会員間で共有できるように、今まで以上に発信を増やしていくと思います。各々がそれに対応し、患者様に信頼され、喜んで頂ける施術所にしなければ回復は見込めないと思います。地域における柔道整復師の役割を向上させ、何年先でも引き継がれる団体を目指して、私も微力ではありますが、お手伝いをさせていただきます。

監事としての役割は、新事業が正しく遂行されているかを判断すると共に、厳しい財政をしっかりと管理し、会員の皆様方の利益に繋がる業務を遂行する事だと思っています。今年は社団法人設立70周年を迎え、記念式典が開催されます。先人達が築き守られて来た歴史ある業界を、今後も正しく継承して行くために、会員、関係各位の皆様と一致団結して、今後の更なる発展の為に一層のご協力を賜りますように、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、2024年が皆様方にとって希望に満ちた幸福な年になります事を心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年度第1回京都府補助金事業 「運動器疾患対応力向上実施事業」開催

令和5年10月8日(日)、午後1時から上記の講習会が開催されました。今井雅浩学術部長の司会で始まり、長尾淳彦会長の挨拶が行われました。



挨拶 長尾淳彦 会長

◆講演「肩腰膝の痛みに対する運動療法」

講師：株式会社 Y-TRAINING

指導責任者／本部長 村上幸史 先生

サポート：宮下梨沙 先生、林田竜歩 先生



Exerciseの説明をされる
村上幸史 先生

- 項目内容 1. Exercise の紹介 2. Exercise の動作説明（意識性の原則）
3. Exercise に対しての意識的動作の説明 4. Exercise の実践



司会 今井雅浩 学術部長



村上 先生、宮下 先生、林田 先生
講師紹介 安達瑠見子 学術部員 (左)



村上先生(左) 宮下先生(右)



林田先生(手前)

◎自費施術に使える最新の
治療器機器のデモンストレーション
伊藤超短波(株) メディカル営業部大阪営業所

所長代理 松畑宏謙様



伊藤超短波(株) 松畑氏

◎国民年金基金のご案内
全国国民年金基金

京滋支部長 石倉裕子様



全国国民年金基金 石倉氏

最後に、総括を林啓史副会長が話され、今井学術部長の閉会のアナウンスがありました。

今回のハイブリッドワークショップの会場参加は少なかったですが、講師による直接の指導を受けられるというメリットがありますので、次回のワークショップでは会場参加も検討されてはいかがでしょうかと思います。

(広報部 中川稔貴)



総括 林啓史 副会長

第79回 京都接骨学会・保険講習会

令和5年度 第2回運動器疾患対応力向上実施事業

令和5年11月12日(日)午後1時から表記の講習会が開催されました。今回も YouTube LIVE 配信と会場参加のハイブリッドワークショップ形式にて開催されました。

定刻となり、今井雅浩学術部部長の司会により始まりました。内容は下記のとおりです。

1. 開会の辞 林 啓史 副会長
2. 会長挨拶 長尾淳彦 会長



総合司会 今井 学術部長



挨拶 長尾淳彦 会長



開会の挨拶 林 啓史 副会長

3. 講演 『超音波エコー観察講習会』

「日々の施術にエコーを取り入れよう！実践で使える肩関節・下肢編」

公益社団法人滋賀県柔道整復師会総務部長 近畿超音波委員 川戸典知 先生



講師 川戸典知 先生



実習の様子



会場実技風景



会場実技風景

4. 保険講習会

司 会 太田雄巳 保険部員
 講師紹介 中村英弘 保険部長

講演

「労災保険制度の概要及び請求時の留意事項」

講師 京都労働局労働基準部労災補償課
 課長 西 直樹 様

講演では、労災保険制度について懇切丁寧に説明をいただきました。また、質疑応答にて的確なお答えを頂きました。

講演

自賠責保険請求における現状について」

～2022年10月の改定をふまえて～

講師：損保ジャパン株式会社
 関西保険金サービス部
 京都保険金サービス第1課
 調査課長 調査チーフ 小野寺康秀 様
 課長代理 人損担当統括 石村高志 様
 調査主任 尾崎純也 様

自賠責保険請求の改定および、各年度の統計を基に、請求・支払い状況を説明していただき、質疑応答にも丁寧に対応していただきました。

5. 閉会の辞

谷山和浩 副会長

今回の京都接骨学会・保険講習はトラブルもなく、LIVE配信も成功裏に終了しました。



中村保険部長 太田 保険部員



ご講演 西直樹様



ご講演 尾崎純也様



閉会の辞 谷山和浩 副会長
 (広報部 中川稔貴)

(公社) 日本柔道整復師会

第46回近畿学術大会奈良大会 開催

令和5年10月29日(日)公益社団法人日本柔道整復師会 第46回近畿学術大会 奈良大会が奈良県社会福祉総合センターにて開催されました。本学術大会は柔道整復師、並びに養成校学生の生涯学習の一環として、柔道整復術の研究、医学的技術と知識の研鑽、資質向上、及び地域住民の健康と福祉に寄与することを目的に開催されています。昨年の京都大会では初の完全オンラインでの開催となりましたが今回の奈良大会では現地とオンラインの2つの方法での同時開催であるハイブリッド開催となりました。

開会式

- ・司会 公益社団法人和歌山県柔道整復師会 近畿学術委員 梅田貴吉
- ・開会宣言 公益社団法人日本柔道整復師会
近畿ブロック会会長 大会実行副委員長 会長 杉尾裕司
公益社団法人滋賀県柔道整復師会
- ・開会挨拶 公益社団法人日本柔道整復師会 会長 長尾淳彦
- ・主管県挨拶 大会実行委員長 公益社団法人奈良県柔道整復師会 会長 川口貴弘
- ・学術功労賞表彰 和歌山県 竹中秋生 会員
兵庫県 長山 誠 会員

ご講演・発表・閉会式

次に特別講演に移りました。一般社団法人 奈良県医師会会長 安東範明 先生による「新型コロナウイルスに立ち向かう — 奈良県医師会3年半の闘い」と題したご講演でした。特別講演終了後は第I会場、第II会場が並行して会員や養成校学生などによる発表、近畿超音波画像観察委員会委員などによる超音波画像観察装置関連の発表など多くの発表が行われましたが午後4時前にすべて滞りなく終了し、表彰式に移りました。表彰式ではまず発表表彰者として過去6回発表の兵庫県 上濱博文会員、12回発表の滋賀県 川戸典知会員、21回発表の奈良県 西尾勝彦会員が表彰されました。次に第I会場での一般会員発表者11名が表彰されました。次いで養成校発表者が表彰され、各々の養成校に感謝状が授与されました。今回は医療スポーツ専門学校と大阪ハイテクノロジー専門学校の2校でした。次に滋賀県の福本善之学術委員長より謝辞の言葉があり来年は和歌山で本大会が開催される旨、話されました。最後に和歌山県柔道整復師会 岸田昌章会長の閉会宣言により終了となりました。

本会の発表者

- ・「肩関節脱臼発生機序の考察」 井坂 豊 会員
- ・「柔道整復師がスポーツトレーナー活動をする意義を考える」 久見達也 会員
- ・「体幹部に密着させた両肩関節部への2点提肘方法について」 小池真賢 会員

本会の座長

第I会場 今井雅浩 学術部長

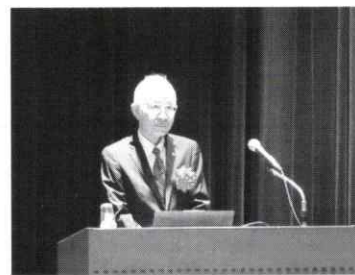
※上記のほか本会会員が役員として大会役員、実行委員、会場係などを務められていました。



開会式挨拶 長尾淳彦 会長



学術功労賞表彰



安東範明 先生



第Ⅱ会場



医療機器等の展示会場



座長 今井雅浩 学術部長



井坂 豊 会員



久見達也 会員



小池真賢 会員



発表表彰者



一般会員発表者の表彰

全体会議 開催

令和5年12月16日(土)午後3時30分からリーガロイヤルホテル京都「百合の間」において本会、全体会議が開催された。以下次第と要旨を記す。

・司会 副会長 林 啓史

1. 挨拶 会長 長尾淳彦

本府関連、日整関連、政治連盟関連など



長尾淳彦 会長



会場の様子



司会 林 啓史 副会長

2. 連絡事項

総務部長 岡田達也

グループLINEを使った連絡網、インターネットの活用等について

経理部長 西村美紀

外部監査の実施、税務相談会開催、HotBizを使用した会務報告

保険部長 中村英弘

保険講習会の開催、弁護士法人「えん」導入、申請の面接確認と施術録の整備、保険証のオンライン資格確認等

学術部長 今井雅浩

学会におけるハイブリッド開催、匠の技 伝承プロジェクト、体験型ワークショップの在り方等について

広報部長 中川稔貴

記事投稿のお願い、京柔整会報の発刊縮小（年2回）

事業部長 兼田旭紘

救護隊派遣における報告要項、少年柔道大会の報告、特別昇段審査会の開催

3. 支部からの要望・質問

以下の質問があり、回答された

- ・北丹支部：保険講習会の動画閲覧について、学会のハイブリッド開催について
- ・乙訓支部：支部会の開催について
- ・中丹支部：保険証のオンライン資格確認
- ・南山城支部：オンライン資格確認とマイナカード

4. その他

- ・ 藤野勝弘相談役：支部会開催に関する補足
- ・ 柴田宗宣相談役：顧問弁護士への相談について



岡田達也 総務部長



面村美紀 経理部長



中村英弘 保険部長



今井雅浩 学術部長



中川稔貴 広報部長



兼田旭紘 事業部長



藤野勝弘 相談役



柴田宗宣 相談役

第35回 市民スポーツフェスティバル

救護活動報告

令和5年11月3日(金・祝)青空が広がり夏の陽気が残る中、西京極総合運動公園にて京都市体育振興会連合会70周年記念 第35回市民スポーツフェスティバルが行われました。京都市の派遣要請に本会より救急救護隊を派遣しました。

午前9時から開会式が行われ、長尾淳彦会長が来賓として参列しました。

開会式後、たけびしスタジアム京都、わかさスタジアム京都、たかおかアリーナ京都に分かれ、それぞれリレーカーニバル/ジョギング大会、ソフトボール大会/壮年ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会が行われました。たけびしスタジアム京都には和田篤紘隊員(北)梅本裕貴隊員(西京)、わかさスタジアム京都には八木克敏副隊長(右京)伊藤高基隊員(中京)、たかおかアリーナ京都には兼田旭紘隊長(中京)、安達瑠見子隊員(右京)が救護にあたりました。

たけびしスタジアム京都では鎖骨骨折、捻挫他3名、たかおかアリーナ京都はアキレス腱断裂、挫傷の応急手当を行いました。わかさスタジアム京都では負傷者はいませんでした。

各会場とも順調に競技が進み午後4時半、救護活動を終わりました。

(広報部 中川稔貴)



京柔整救急救護隊 集合写真



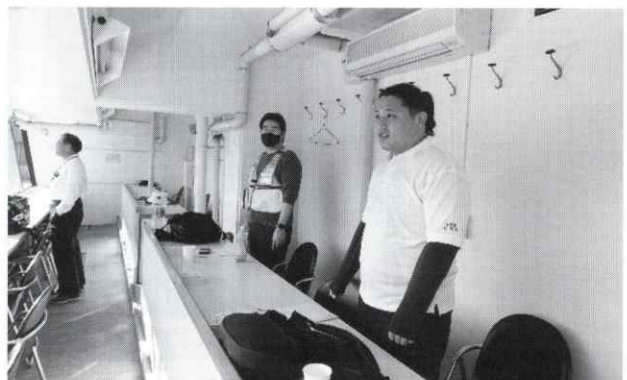
試合を見守る 兼田旭紘 隊長 (中京)



安達瑠見子 隊員 (右京)



和田篤紘 隊員 (北) 梅本裕貴 隊員 (西京)



伊藤高基 隊員 (中京) 八木克敏 副隊長 (右京)

文部科学大臣杯争奪
第32回日整全国少年柔道大会
 第13回日整全国少年柔道「形」競技会
日整全国少年柔道大会
 第4回
全国柔道整復師高段者大会

令和5年11月19日(日)、講道館において、「文部科学大臣杯争奪 第32回日整全国少年柔道大会 第13回日整全国少年柔道「形」競技会 日整全国少年柔道大会 第4回全国柔道整復師高段者大会」が行われました。京都府柔道整復師会から、長尾淳彦会長、岡田達也総務部長、兼田旭紘事業部長、山本俊広事業部主任が参加されました。京都チームは三回戦まで進むも、大会準優勝の広島県に惜しくも敗退しました。

結果は以下の通りです。(日本柔道整復師会ホームページから引用)

2023/11/19

文部科学大臣杯争奪 第32回日整全国少年柔道大会

優勝	宮崎県
準優勝	広島県
3位	千葉県
	奈良県
敢闘賞	茨城県
	長崎県
	三重県
	兵庫県
フェアプレー賞	徳島県
	栃木県
	沖縄県
	鳥取県
優秀選手賞	佐藤大峨(宮崎県)
	坂口日向(宮崎県)
	吉本海人(広島県)
	小川恵舞(千葉県)
	金相武(奈良県)

文部科学大臣杯争奪 第13回日整全国少年柔道「形」競技会

優勝	兵庫県
準優勝	東京都
3位	大阪府
4位	滋賀県
5位	青森県
6位	岡山県
7位	北海道
8位	愛知県

第4回全国柔道整復師高段者大会

優秀選手賞	五段の部	倉井康雄(栃木県)
	五段の部	刈屋 遼(栃木県)
	六段の部	古谷富治(新潟県)
	女子五段の部	齋藤志織(東京都)



第13回日整全国少年柔道「形」競技会 結果

予選

Aブロック 第1試合場

順序	チーム	得点
1	福岡県	64.3
2	高知県	64.8
3	鳥取県	66.1
4	三重県	63.6
5	岡山県	72.7
6	佐賀県	65.0
7	宮城県	66.4
8	徳島県	68.6
9	宮崎県	70.9
10	長野県	70.0
11	北海道	76.8
12	-	-

Bブロック 第2試合場

順序	チーム	得点
1	山口県	55.7
2	島根県	67.5
3	新潟県	62.7
4	奈良県	75.2
5	京都府	62.0
6	福井県	59.8
7	石川県	61.1
8	兵庫県	78.0
9	福島県	59.1
10	群馬県	67.3
11	東京都	77.5
12	岩手県	63.9

Cブロック 第3試合場

順序	チーム	得点
1	千葉県	52.0
2	愛媛県	50.9
3	神奈川県	62.3
4	大阪府	67.0
5	長崎県	57.0
6	愛知県	64.3
7	富山県	61.1
8	和歌山県	57.0
9	秋田県	欠
10	茨城県	61.1
11	栃木県	53.9
12	-	-

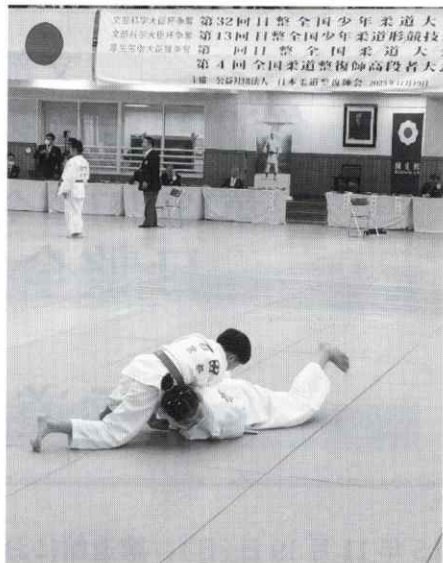
Dブロック 第4試合場

順序	チーム	得点
1	山梨県	65.7
2	埼玉県	66.6
3	山形県	65.0
4	静岡県	72.0
5	青森県	73.6
6	大分県	68.0
7	沖縄県	65.2
8	香川県	73.2
9	岐阜県	70.9
10	広島県	65.2
11	滋賀県	74.5
12	熊本県	68.4

決勝

第1試合場

順序	チーム	得点	順位
1	愛知県	70.3	8
2	兵庫県	78.5	1
3	大阪府	75.9	3
4	滋賀県	73.5	4
5	岡山県	72.7	6
6	北海道	72.0	7
7	東京都	77.9	2
8	青森県	73.2	5

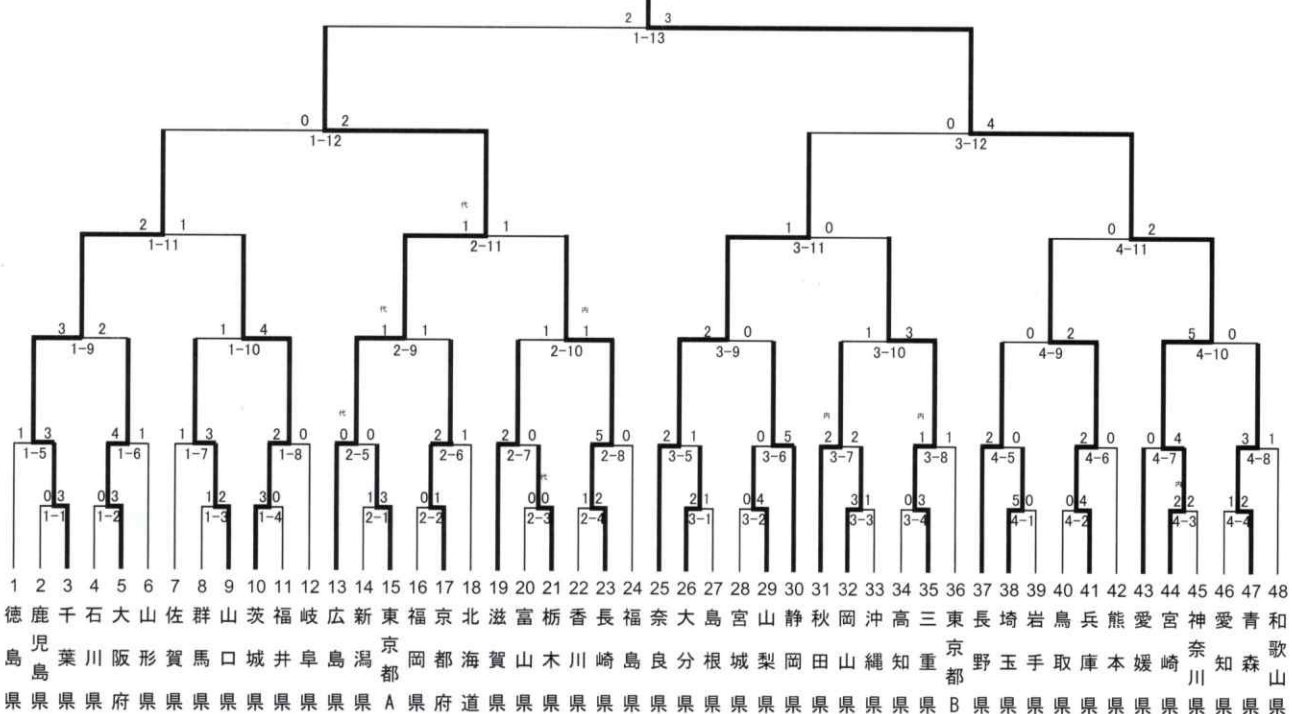


令和5年11月19日(日)実施 於 講道館(5階 女子部道場)
第4回全国柔道整復師高段者大会記録用紙

優秀選手	1 倉井康雄 2 刈屋 遼	3 古谷嘉哉 4 藤崎志織	審判員
12 藤崎志織	11 刈屋 遼	10 古谷嘉哉	道場 良久
11 藤崎志織	10 刈屋 遼	9 古谷嘉哉	眞喜志 慶治
10 藤崎志織	9 刈屋 遼	8 古谷嘉哉	大島 平野
9 藤崎志織	8 刈屋 遼	7 古谷嘉哉	修次 弘幸
8 藤崎志織	7 刈屋 遼	6 古谷嘉哉	
7 藤崎志織	6 刈屋 遼	5 古谷嘉哉	
6 藤崎志織	5 刈屋 遼	4 古谷嘉哉	
5 藤崎志織	4 刈屋 遼	3 古谷嘉哉	
4 藤崎志織	3 刈屋 遼	2 古谷嘉哉	
3 藤崎志織	2 刈屋 遼	1 古谷嘉哉	
2 藤崎志織	1 刈屋 遼	0 古谷嘉哉	
1 藤崎志織	0 刈屋 遼	- 古谷嘉哉	

第32回日整全国少年柔道大会試合結果

優勝 宮崎県



活動報告

第25回京柔整会ゴルフコンペ

京柔整ゴルフ同好会 山形 高明

去る11月19日、第25回京柔整会ゴルフコンペを滋賀県のローズゴルフクラブで開催しました。コロナ禍による4年ぶりの開催で、晴天に恵まれる中、12名の同好会メンバーで競技を行いました。熱戦が繰り広げられる中、優勝は北支部の栗田祥吾会員、準優勝は南丹支部の林 哲也会員という結果になりました。

コンペ終了後、表彰式と合わせて会食が行われゴルフ談議に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。次回は春を予定しておりますので、ぜひご参加をお待ちしております。



活動報告

「第56回松谷杯柔道大会」救護活動報告

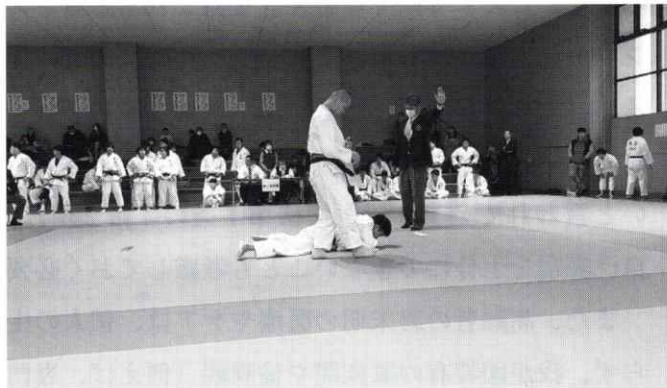
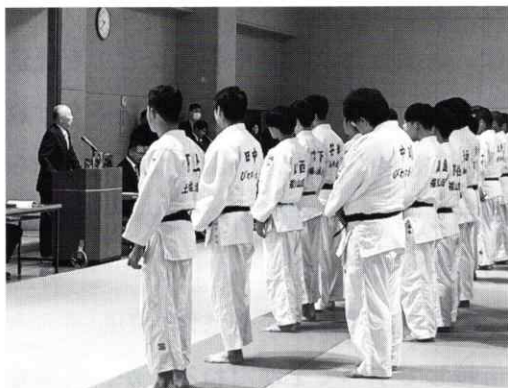
北丹支部 河原 巧

「第56回松谷杯柔道大会」が、令和5年10月29日(日)に京都府舞鶴市の舞鶴文化公園体育館で開催され、地元の高校生、社会人、そして京都市内の柔道場の選手たちが参加しました。

舞鶴市は京都府の美しい海岸線に位置し、その風光明媚な環境は柔道の稽古に最適です。この土地に根付いた柔道の歴史は深く、西舞鶴高校柔道部もその一翼を担ってきました。高校の柔道部は長い間、地域の誇りであり数々の若い柔道家を輩出してきました。

大会当日、観客は熱気と期待に包まれ、試合は白熱しました。若い柔道家たちの熱意と技術が競り合い、見応えのある熱戦が展開されました。そして、幸いなことに大会中に大きな怪我は発生せず、無事に大会を終えることができました。また、救護のために北丹支部から派遣された2名のスタッフは、大会を楽しむ参加者たちが安心して競技できるようにサポートしました。

「第56回松谷杯柔道大会」は、柔道愛好者や地域の交流を深める貴重な機会となり、舞鶴市と西舞鶴高校柔道部の柔道史に新たな1ページを刻んだ瞬間と言えるでしょう。柔道の伝統と熱意が、この美しい地で今もなお栄えていることが示された1日となりました。



「高齢化社会」を迎えて（その9） —「終活」の具体的進め方（8）—

本会顧問 弁護士 薦田純一

前回は、「おひとりさま」問題を考えていくなかで、高齢の方から実際にご相談を頂いた「尊厳死の希望」を果たせる方法、すなわち、現代の医療技術では、回復の見込みがなく、死期が迫っていると担当医を含めて2名以上の医師が診断した場合には、死期を延ばすための胃瘻や人工呼吸などによる延命治療は一切行わないで、人としての尊厳を保った安らかな死を迎えたいという希望を叶えてあげるための方法について「尊厳死宣言公正証書」という方法があると紹介しましたところ、たくさんの方から、色々な観点からの賛否両論の反響を頂きました。

前回は述べましたように、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者層に属するようになる2025年には、死亡者数が出生者数の2倍に達すると予想されていることから、この問題は、実にたくさんの方が関心を持っていらっしゃるということがわかりました。そこで、今回は、「終活」の重要な局面としての「高齢者の終末期医療とケア」について、少し深掘りしてみましよう。

- 1 ここに「終末期」というのは、「病状が不可逆的かつ進行性で、その時代に可能な限りの治療によっても病状の好転や進行の阻止が期待できなくなり、近い将来の死が不可避となった状態」を指します（日本老年医学会の立場表明・2012）。このような「終末期」において、一方では、前回述べましたように、意識が明瞭なうちに「尊厳死宣言」をしておいて、ただ死期を伸ばすだけの延命治療は拒否したいと考える患者の方がいらっしゃいます。実際に、ご家族が、意識がなくなった患者の意思を示すためにこのような宣言を見せた場合には、90%以上の医療機関が、患者の希望に添ってくれたとのアンケート結果があるそうです。

ただ、90歳を超えた橋田壽賀子さんが、「文藝春秋」（2016年12月号）で、「安楽死で逝きたい」と宣言して反響を呼んだことがありましたが、「安楽死」というのは、「治療の見込みが無い患者本人の希望に従って、薬物投与などの方法で人為的に死に至らせること」を言いますので、「延命治療の拒否」を意味する「尊厳死」とはニュアンスが異なります。現在の日本の法律では、「安楽死」や「自殺幫助」は「犯罪」になってしまいます（刑法202条）。

- 2 しかし、このように「尊厳死」を望まれる患者さんがいらっしゃる一方で、医療関係者からは「インフォームド・コンセント」、すなわち、「医療の担い手は、医療行為（投薬や手術など）を提供するに当たり、対象者（患者）に、適切な説明を行い、患者の自由な意思に基づく同意を得なければならない。」つまり、患者の「自己決定権」を保障するために必要な情報を提供しなければならないと言われていています（医療法第1条の4第2項）。特に高齢患者は、意思が不安定かつ流動的で、自己表現を十分にできないことも考慮しておく必要があるとされています。

また、高齢者の終末期の医療やケアは、個人の生死観や価値観、思想信条や信仰への配慮のみならず、我が国特有の家族間や倫理観（例えば、専門家を信頼してすべてをゆだねるとか、何事も運

命として受け入れるなど、自律性を最重要視する欧米の考え方とは異なる生死観を生み出した文化的背景など)への配慮も不可欠だとされています。さらに、終末期を迎えた患者を見守る家族への配慮や支援も必要だと言われています。

3 ここで、京都市が、2017年4月から市民向けに配布した「終活～人生の終末期に向けての備え」と題するリーフレットと、終末期医療の「事前指示書」を巡って揉めたことがありますが、ご紹介しましょう。

(1) まず、医療関係者側からは、公の立場である京都市が、市民の生死の選択にかかる「事前指示書」を、必須であるべき医療関係者との連携を整えることなく、各区や福祉事務所などの窓口で「お知らせ」のように配布することに強い違和感を表明し、撤回と回収を求める声明を発表しました。

医療関係者からの意見は、日々様々な患者さんと向き合った経験から人生の最後を迎えるに当たって、ご本人やご家族の意見を伺うことがあるが、元気なときには「延命治療なんかしていらん。」と言っていた患者さんが、いざとなれば真逆のことを言われることなど日常茶飯事である。終末期という混乱と苦痛や不安の真っ只中に陥ったとき、事前に予定したとおりに粛々と逝けるほど生命は軽いものではない。そのときこそ、医療者からの病状や介護支援などの十分な説明のもとでしっかり話し合った上で、治療方針は決められるべきであると言われています(保険医協会の声明・2017年6月2日京都新聞)。このような考えは、十分うなずけるところがあります。このような「事前指示書」を貰った患者さんが、ご家族にかかる医療費の負担増のことを気にしてしまわないかという点も懸念するところです。

(2) ただ、厚生労働省の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」でも、終末期医療において患者の意思確認が出来ない場合に、家族が患者の意思を推定できる場合には、その推定意思を尊重し、患者にとっての最善の治療方針をとることを基本とする」とされているので、この状況において「事前指示書」が患者の意思推定に大きな役割を果たすという反論もあります。

しかし、厚生労働省のガイドラインは、あくまでも終末期医療の方針の決定について「患者や家族と医療従事者との話し合い」を基本としていることにも注意しなければならないと思います。

4 以上のような議論を踏まえたとえ、なお「尊厳死」を希望される方は、1976年に「自分の病気が治る見込みが無く死期が迫って来たときに、延命治療を断るといふ死のありかたを選ぶ権利を社会的に認めて貰うこと」を目的として設立された「公益財団法人・日本尊厳死協会」が提案している「リビング・ウィル(人生の最終段階における事前書)」を登録するという方法もありますので、検討して下さい。

以上

北、上支部会・懇親会開催

通信員 口田裕之

秋から冬への変化の時季の令和5年11月11日(土)、上京区の「天菟」にて北、上京支部会・懇親会が開催されました。(支部会員21名出席)

懇親会は、午後6時から清水武史先生の乾杯のご発声で始まりました。谷山和浩副会長から本会の動静など将来に向けての貴重なお話などがあり、会員の先生方の質問に対して丁寧に答えていただき大変参考になりました。柴田宗宣先生からも貴重なお話しがあり、会員同士の意見交換もありました。

懇親会では、天ぷらの京会席料理をいただきながら会員間での有意義な情報交換の場となっていました。あっという間に時間となり、最後に面村美紀理事の一本締めで閉会となりました。

お忙しい中、ご出席された先生方ありがとうございました。



令和6年能登半島地震のお見舞い

1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により犠牲となられた方々とそのご家族の皆様にご心よりお悔みを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の、一日も早く日常を取り戻されることをお祈り申し上げます。

新年号 機関紙170号は災害前に校正・作成され、今の状況とは異なるものであることをお伝えし、お詫び申し上げます。

公益社団法人京都府柔道整復師会 広報部

会員の動静

退会

9月 中井康一郎 (伏見支部)
(賛助会員)

11月 赤瀬弘晃 (乙訓支部)

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
1月	6日(土)~3月18日(月)		第58回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開
	27日(土)	税務個別相談会	
2月	2日(金)~4日(日)		壬生寺節分厄除大法会 吉田神社節分祭
	18日(日)		京都マラソン2024
	25日(日)	第80回京都接骨学会 令和5年度運動器疾患 対応力向上実施事業 (ハイブリッド開催)	梅花祭：北野天満宮
3月	13日(水)~5月13日(月)		法輪寺 春の十三まいり
4月	21日(日)		松尾大社：神幸祭
5月	12日(日)		松尾大社：還幸祭
6月	9日(日)	京都府柔道整復師会創立102年、社団法人 設立70周年、協同組合設立35周年記念事業 ・祝賀会 (リーガロイヤルホテル京都)	
	28日(金)	京柔整会報171号投稿締切	

毎月、第3土曜日に保険説明会が開催されます。(詳しくは事務局まで問い合わせてください)

編集後記

- 新しい年が始まった。昨年の「今年の漢字」は「税」。インボイス制度など税に関する話題が多かったことを反映している。2014年にも「税」が選ばれている。その年は17年ぶりに消費税率が引き上げられた年であった。ちなみに2020年から「密」「金」「戦」と続いている。世相を反映しているが、2021年の東京オリンピック・パラリンピックの日本人金メダルラッシュからの「金」以外はいい話題がなかったと言える。今年がわが業界も含めて良い年になることを祈っている。 Yuji
- 本年は辰年、十干十二支でいうと甲辰(きのえ・たつ)となります。甲は十干の中でも第1位であり優勢であるということ、堂々とした大木を表しているそうです。辰は干支の中で唯一架空の生き物(竜・龍)を意味し、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と言われています。縁起の良い組み合わせとなる2024年は努力と忍耐を強いられたコロナ禍が終わり、仕事や学業、世界中の人々が龍のように力強く平和で大きな成果が出ますよう心よりお祈りいたします。 けんじ
- 今年の7月3日に、20年ぶりに新紙幣が発行されます。渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎。皆さんが聞いたことのあるキャラクターが使用されます。しかし世の中はキャッシュレス化が加速しています。カードやスマートフォンでのバーコード、QRコード決済が主流となってきています。今年は、福沢諭吉さん・渋沢栄一さんとは何人会えるでしょうか。また、施術所の決済も変えて行かないと時代に取り残されますね。とりあえず、全力で施術を頑張ります！ ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 6月28日



スポーツ × 医療

「人の役に立ちたい」～その想いに答える学び～



◎中学・高校保健体育一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による ◎鍼灸師+柔道整復師のWライセンス取得を全面サポート
◎明治国際医療大学認定資格「メディカルアスレチックトレーナー」育成プログラム

こころ和らぐ医療を創造する

明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189
URL <https://www.meiji-u.ac.jp>



大学HPは
コチラ!!

看護学部 看護学科	保健医療学部 救急救命学科 柔道整復学科	鍼灸学部 鍼灸学科	大学院 鍼灸学 研究科 保健医療学 研究科
--------------	----------------------------	--------------	-----------------------------

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800
URL <https://www.meiji-s.ac.jp>



専門学校HPは
コチラ!!

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]	柔整学科 [医療専門課程3年制]
------------------	------------------

京柔整会報

機関誌 170号

令和6年1月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部長 中川 稔貴
発行所 京都市右京区西京極新明町6番地
☎ 京都(075)325-0414
(広報部)
印刷所 株式会社 幸伸
京都市下京区中堂寺庄ノ内町1-131
TEL.(075)314-2251
FAX.(075)314-5177

導入実績10,000件以上!

接骨院・整骨院専用のレセコンなら『三四郎くん』

公益社団法人 京都府柔道整復師会でも導入率No.1!

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.5

療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



※一部ご希望に添えない場合があります。



▲ 保険証入力画面

▲ 傷病通院入力画面

オプションでさらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム



【東京ショールーム・SSB研修センター】
東京都千代田区神田三崎町2-7-10
帝都三崎町ビル 7F

超音波画像ファイリングシステム

ウルトラ三四郎 Next

大切な超音波画像をUSBメモリで
簡単取り込み・保存できます!!

超音波観察装置 ラインナップ

弊社は『匠の技 伝承』プロジェクト

に協力しています。



Viamo sv7

医療機器認証番号:
229ACBZX00025000
製造販売元:
キャノンメディカルシステムズ株式会社



ARIETTA Prologue SE

医療機器認証番号:
227ABBZX00109000
製造販売元:
富士フィルムヘルスケア株式会社

HS-2200

医療機器認証番号:
225AHBZX000034
製造販売元: 本多電子株式会社



柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

【関西営業所】〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL 06-6390-3462 / FAX 06-6390-3463

HPはこちらから▶

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>



最新柔整情報が読める!!柔整ホットニュース
<https://www.jusei-news.com/>

